

仙美里発！北海道立農業大学校  
**Campus通信 No.39**

後期を振り返り、農大の魅力をダイジェストで紹介！

海外視察研修



【オーストラリア・シドニー】



【イタリア・ローマ】

今年度の海外視察研修は、畑作園芸経営学科が12月9日～17日の日程で実施し、研修先はイタリア、畜産経営学科が12月10日～18日の日程で実施し、研修先はオーストラリアでした。それぞれ9日間の日程でしたが、海外の農業や文化について学び、ファームステイでは、農業経営についてはもちろん実際の食品加工技術や食文化について詳しく調査を進めることができました。



【ダイナミック！量り売り】



【ミニトマト試食会】

農大行事フォトアルバム

10月

農大市

10月18日



【大人気！加工品販売】



【丁寧な接客と説明】



【豪華景品 ピンゴ大会】

11月

校内プロジェクト発表会 11月28日



【調査・研究の成果を発表】



【写真データによる比較】



【聴衆者も真剣】

1月

東日本農大プロジェクト 1月22日～23日



【畜産1年 鯖江君の発表】



【東日本の農大が集結】



【研究科 田中君が入賞！】

2月

冬季体育大会

2月5日



【白熱！バスケットボール】



【ナイスシュート】



【ナイスレシーブ】

## 平成26年度 卒業式



平成26年度卒業式が3月6日行われました。畜産経営学科29名、畑作園芸経営学科30名、稲作経営専攻コース9名、農業経営研究科7名、合計75名が農業大学校を巣立っていきました。今後は、次世代を担う農業者として全道の各地域で活躍されることを期待します。

## 同窓会入会式



3月6日、卒業式と同日に北海道立農業大学校 同窓会入会式が行われました。当日は津島同窓会長からご挨拶を頂き、創立70周年記念事業を控え、同窓生として今後も協力し合い北海道農業を盛り上げていくことを入会式で確認することができました。

## 1年を振り返って



畑作園芸経営学科1年  
河田 貴洋(美幌町出身)

農大に入学してから、もう1年が経とうとしています。入学当初は、寮生活の経験がなかったことや学校生活をうまくやっていけるかなど不安なことが多々ありました。しかし、日々過ごしていく中でクラスメートと仲良くなり充実した学校生活を過ごしています。実習は、主に先輩方の補助で馬鈴薯や人参、玉葱や長いもなど栽培しましたが、今まで自分が関わったことのない作物が多かったので大変でした。8月から9月の1ヶ月研修では、なれない部分もありましたがとても有意義な1ヶ月となりました。来年度からは、自分のプロジェクトが本格的に始まるので、一生懸命がんばって成功させたいと思います。



畜産経営学科1年  
坂本 有如(旭川市出身)

早いもので、農大に入学してから1年が経とうとしています。最初は、不安だらけだった寮生活も先輩や友達に恵まれ、充実した楽しい日々を送っています。授業や専攻実習では、家畜についての詳しい学習や牛体管理、草地等の管理など実践的に学ぶことができ、たくさんの知識や技術を習得できました。朝バイトや畜舎当番の苦手な早起きも、なんとかこなし、生活に慣れたことを実感します。来年度からは、プロジェクト活動が本格的に始まります。たくさんのデータを集めることを目標に努力していきたいです。さらに、家畜人工受精師や肉蹄師などの免許も取得できるよう、積極的に取り組んでいきたいです。



農業経営研究科1年  
飯沼 拓哉(帯広市出身)

研究科では約半年間実習を行います。実習の計画は自ら考えます。私は「自家の経営状況、栽培技術の把握、馬鈴薯の減肥減農薬試験」というテーマで実習を行いました。主に自家で実習を行い実際に農作業等を学びました。馬鈴薯の試験では試験区を設置して、は種から収穫までの試験を行いました。試験結果は断定出来ませんが、試験を行って馬鈴薯の施肥や農薬の名称や希釈方法を含め防除方法を学ぶことが出来ました。視察では色々な経営体系の農家を視察し、今後の展開を考えることが出来ました。来年は、T P Pの影響を考え畑作栽培に加えて野菜に取り組もうと考えています。残りの1年間は仲間たちと楽しく有意義に過ごしていきたいです。



稲作経営専攻コース1年  
加藤 佑弥(旭川市出身)

この一年を振り返ってみると、あっという間だったと感じています。最初は大学の生活や授業の内容など難しいことや慣れないこともありましたが、一年が経とうしている今では日常の一部として慣れました。拓大の行事や授業などは拓大生と一緒に同じことをしました。実習や実験、キャリア技能など専門的なことも習う一方、哲学や生涯スポーツなどの農業以外の分野の授業もありました。夏休みには稲作経営専攻コースだけの集中講義があり、つらい部分もありましたが、簿記の学習で知識を深めたり、滝川にある花・野菜技術センターで農業の経営や技術、そして米の販売戦略の話も聞くことができ、とても興味深く印象に残るものになりました。あっという間の一年でしたが、知識・経験を来年に活かし、稲作の勉強をしたいと思います。

発行者 北海道立農業大学校 〒089-3675 中川郡本別町西仙美里25-1 平成27年3月31日発行

TEL 0156-24-2121 e-mail nodai.kyomu1@pref.hokkaido.lg.jp URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ngd>